

## 深谷たんぽぽの10年

深谷たんぽぽ 榎澤 正範

### 1、深谷たんぽぽ概要

設置法人：社会福祉法人 埼玉のぞみの園

開所年月日：平成27年4月1日(旧名深谷市立たんぽぽ作業所 昭和58年4月1日)

(平成27年4月深谷市より建物移管にて新規再登録)

事業内容：生活介護事業 定員25名 現員25名(令和3年1月末現在)

就労継続支援B型事業 定員25名 現員27名( )

### 2、工賃の推移(就労継続B型)

年度	作業収入	平均工賃	備考
平成10年度	3,245,602	5,108	旧制度
15年度	3,665,796	4,565	々
20年度	5,274,726	11,048	
24年度	5,473,123	12,157	県工賃向上計画
25年度	10,638,247	13,346	
26年度	14,145,170	15,385	
27年度	15,560,849	20,099	
28年度	17,552,045	20,250	
29年度	18,221,969	21,205	
30年度	21,155,814	25,025	
令和元年度	22,750,327	30,008	

### 3、「埼玉県工賃工場計画」(平成24年～)を受けて

#### ① 障害者施設の意識改革

「哀れみではなく、お互いに人として幸せになることを願って」(法人理念)

「人は働くことで成長する」(法人山崎理事長)

「よく働き、よく遊べ」(法人スローガン) → H25 開設30周年グアム旅行

→ 施設内に『利用者の工賃向上(経済力)を考えるプロジェクト』発足(H25.1)

- ・ヤマト福祉財団小倉昌男著「月給1万円からの脱出」による勉強会
- ・B型目標工賃13,100円(H22 県平均)の設定
- ・障害者優先調達推進法を活用した作業開拓
- ・授産の取り扱いを「自然館(仮称)」で一本化？

→ 保護管理から自立支援へ

## ② 魅力ある授産製品の商品開発、販路拡大の推進

- ・「埼玉県技術指導員支援制度」(H25) → 食育パティシエによる食品班支援  
→ 厳選素材の「たんぽぽコーヒークッキー」「たんぽぽコーヒীগレット」製造  
→ パレスホテル大宮焼き菓子コンテスト準優勝(H26.6)  
々々 協会賞 (H29.6)
- ・自然循環農法によるオーガニック食用バラ栽培開始 (H30.6～)  
→ 「国連生物多様性アクション大賞 2019・審査員賞」受賞 (R1.12)  
福祉関連雑誌「コトノネ」紹介記事掲載 (R2.7)
- ・プロデザイナーによるカタログ及び商品パッケージ作成 (R1, 3)

## ③ 官公需の推進

- ・「障害者優先調達推進法」(H25.4)により、特別支援学校清掃作業開始(H25.10～)
- ・埼玉県衛生研究所開所式記念品に「オーガニックガレット」採用 (H26.4)
- ・深谷市ふるさと納税返礼品に「オーガニックガレット」採用 (H27.7～)

## ④ 共同受注の推進

- ・法人傘下5事業所によるピッキング作業開始 (H28.5～)
- ・近隣B型事業所との共同作業による木工商品受注 (県立博物館記念品) (R1.11)

## ⑤ 事業の改善

- ・役務作業の新規導入  
特支校清掃 (H25.10～)、駐車場等清掃 (H30.10～)、病院花壇管理 (R2.10～)
- ・利用者作業へのPC活用 (H28～)

## 4、「無駄遣いのすすめ」 = 稼いだら、使おうよ =

- ・清涼飲料自動販売機設置(H27.8) → 収益金を忘年会等の費用へ還元
- ・旅行費自己負担金を工賃からの積立(2,000円/月)
- ・グループホーム利用推進 (2名(H23.4) → 15名(R3.1))

## 5、おわりに

「工賃の推移」表に見えるようにこの10年間で工賃は約3倍の額を支払えるようになりました。改めて振り返ると工賃に対する意識改革が少しずつできたことが大きかったように思います。ご利用者、ご家族、職員それぞれに法人理念等をそれぞれの立場で理解して頂きつつあります。ご利用者が働く意味をご理解頂ければ、あとは「県工賃向上計画」にある制度を活用するなどして、当たり前のことを当たり前にやってきたように思います。ただ、いつもみんなでおもしろがってやってきたような気がしています。ここが味噌かもしれません。